

令和4年度進行管理・評価シート
松本市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 屋外広告物の規制	2
2 重点区域における景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
□ 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業		
1 松本城南・西外堀復元事業	4
2 国宝松本城天守等耐震対策事業	5
3 国宝松本城天守防災対策事業	6
4 松本城堀浄化対策事業	7
5 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業	8
6 歴史まちづくり事業	9
7 松本城世界遺産登録推進事業	10
□ 歴史的建造物等の周辺環境に関する事業		
8 (都)内環状北線整備事業	11
9 松本城周辺道路整備事業	12
10 松本市基幹博物館整備事業	13
11 市役所庁舎建替事業	14
12 松本城を中心としたまちづくり事業	15
□ 歴史的まちなみ景観に関する事業		
13 歩いてみたい城下町まちづくり事業	16
14 景観計画推進事業	17
15 空き家対策事業	18
□ 伝統行事など伝統文化の継承に関する事業		
16 文化財記録保存事業	19
17 市民学芸員養成講座	20
18 松本城学びと研究事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用について	22
2 文化財の修理について	23
3 文化財の保存・活用を行う施設について	24
4 文化財の防災について	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史まちづくりの効果について	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 歴史的風致の維持向上を図るためには、様々な分野の多岐にわたる施策を実施する必要があり、関係各課との意識共有が不可欠です。そのため、計画の推進に当たっては事務局をお城まちなみ創造本部と文化財課が担当して、各事業担当課と庁内の横断的な連携をとり、法定協議会である松本市歴史的風致維持向上協議会において協議を行って、計画の円滑で効果的な進捗を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 事務局の総合戦略局お城まちなみ創造本部と文化財課が連携して事業を推進している。
 歴史まちづくりに関する庁内会議 計1回実施
 令和4年6月28日 令和4年度第1回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催
 令和5年2月15日 令和4年度第2回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庁内関係各課と歴史まちづくりの意識共有を進めていき、横断的な連携による計画の推進を図る。

状況を示す写真や資料等



令和4年度第1回歴史的風致維持向上協議会
 日時 令和4年6月28日(火)午前10時30分から
 場所 松本市役所本庁舎 第1応接室



令和4年度第2回歴史的風致維持向上協議会
 日時 令和5年2月15日(水)午前10時から
 場所 松本市役所本庁舎 第1応接室

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
屋外広告物の規制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物は景観を構成する重要な要素であることから、松本の良好な景観への規制・誘導と風致の維持向上を図るため、これまでの県条例から松本市の特性を踏まえた独自の屋外広告物条例を平成21年(2009)2月に施行しました。

松本市の魅力である北アルプスや美ヶ原高原などの山岳眺望と松本城を中心とした歴史的景観を保全するため、屋上広告物や野立て看板の規制を強化するなど、独自条例としての有効性と実効性を確保しています。

今後は、条例の周知に取り組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成を目指すものとします。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成21年2月の屋外広告物条例施行に伴う、既存不適格広告物の早期是正を目的に、個別に相談や指導の業務を行っている。
 (個別相談及び指導業務を行った。令和4年度重点区域内改修基数0基)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度末をもって改修補助金の制度も終わり、現在は違反処理に移行している。是正指導等のなかで事業者側のジレンマもあるが、粘り強く交渉をして理解を求めていく。

状況を示す写真や資料等

重点区域内改修事例

(過去の事例)



改修前

改修(色彩基準の適合)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重点区域における景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域は平成20年(2008)に策定した松本市景観計画において、歴史的景観区域と中心都市景観区域で構成されています。歴史的景観区域は、国宝松本城、旧開智学校校舎を始め、城下町の歴史的まちなみや、町割を色濃く残す景観要素で構成されている区域です。また、中心都市景観区域は商業施設・業務施設・行政施設が集積し、松本市の中心市街地を形成している区域で、近代的都市景観を形成しています。

景観計画における景観重点地区としては、松本市の象徴である松本城を中心とする「お城地区」(松本城周辺重点地区)、町人地として、城下町の町割が残り、明治期の蔵など歴史的資産が点在し、中町通りに代表される歴史的街並みの保全と復元が図られている「お城南地区」(中町・高砂通り周辺重点地区)を指定しています。

また、平成30年(2018)には歴史的景観区域と中心都市景観区域に中高層建築物を計画する事業者に対し、松本市景観条例に基づく景観事前協議を行うことを義務付け、地域に応じたきめ細やかな景観誘導を図っています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画の行為制限(定性的基準)による景観事前協議制度により、歴史的景観区域、中心都市景観区域で高さ15メートルを超える建物を建等する場合、景観法に基づく届出(又は通知)の120日前(規模により異なる)までに松本市景観条例に基づく景観事前協議の手続きを求め、協議を実施している。(重点区域内の協議完了件数:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

良好な景観誘導手法として機能するよう、景観デザインマニュアルも併せて見直しを進めていく。

状況を示す写真や資料等



重点区域内協議事例

松本市基幹博物館
(令和元年協議完了事例)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
松本城南・西外堀復元事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 平成23年度～：市単独事業
 平成25年度～：史跡購入費国庫補助
 平成29年度～：歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容
 大正末期に埋め立てられ、跡地が宅地として利用されていることから、天守が眺望できず、城郭としての歴史的景観が損なわれているため、外堀を整備することにより、周辺からの眺望改善を図ることができます。また、二の丸側の土(ど)羽(は)等を本来のあるべき姿に整備することで、史跡の魅力が一層高まります。
 更に、松本城を訪れる観光客にとって重要な位置にある本場所の整備は、周辺の城下町と一体となった回遊性の向上性が図られ、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

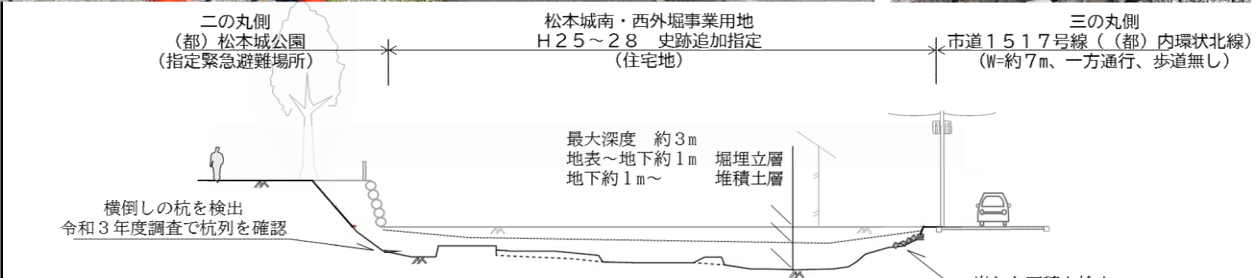
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡指定範囲のうち、権利者の同意が得られた範囲の用地取得を実施した。
 令和4年度末進捗率 用地取得 対象範囲の92.9%(8,628㎡)
 復元整備の根拠となる客観的情報を収集するため、初めて南外堀西側を横断的に発掘調査した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 関係権利者の理解と協力を得て、用地取得交渉を進捗客観的情報を収集するため、南外堀東側等の発掘調査を継続復元整備に向けた具体の設計方針を検討

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
国宝松本城天守等耐震対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和12年度

支援事業名 平成26年度～:市単独事業

計画に記載している内容 耐震診断により、概ね震度6強以上の大地震動下では倒壊の恐れがあると判定された天守等について、文化的価値を損なわない耐震化を進めます。その結果、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の耐震対策工事に向け、耐震対策基本計画策定のための耐震補強内容の検討を行った。また、天守石垣等に関する調査結果に基づいた解析を行い、石垣診断を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

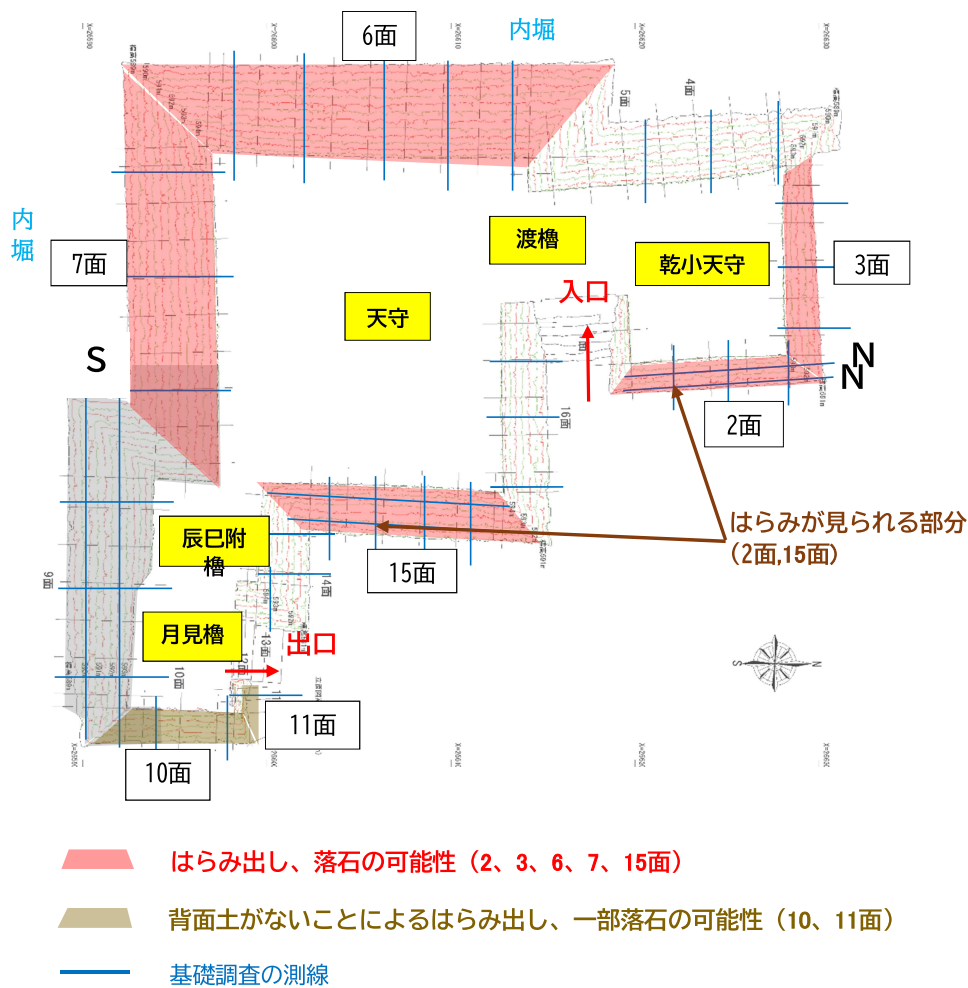
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

国宝松本城天守の文化的価値を損なわない耐震補強や、天守石垣の耐震性能を見据えた耐震対策を実施する必要があるため、国・県や有識者と共に慎重な検討を進める。

状況を示す写真や資料等

石垣耐震調査の結果 位置図



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
国宝松本城天守防災対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～12年度

支援事業名 令和2年度～: 国宝重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 設置から年数が経過し、老朽化が進む防災設備について、火災の早期発見・早期消火につなげるための更新、新設を行うことにより、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の防災設備の見直しや更新、新たな防災設備の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

既存防災設備の見直しを計画的に進める。
 また、設備の設置にあたっては、遺構へ影響を及ぼすことのないよう、史跡の発掘調査等を実施する。

状況を示す写真や資料等

整備内容

1 令和3年度

- (1) 自動火災報知設備の改善
- (2) 自動火災消火設備の設置(スプリンクラー屋内設備)
- (3) 屋内消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
- (4) 屋外消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
- (5) 発掘調査

2 令和4年度

- (1) 屋内消火設備用送水設備(ポンプ室、貯水槽、発電機)の新設
- (2) 電気設備(キュービクル)の更新
- (3) 試掘調査

3 令和5年度

- (1) 既存送水設備の改善(ポンプ室、発電機、既存配管)
- (2) 試掘調査



新規送水設備(ポンプ室)設置状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
松本城堀浄化対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和11年度

支援事業名 平成30年度～：市単独事業、令和5年度～：国庫補助事業

計画に記載している内容 堆積物により、堀に十分な水がはれない等の状況を改善し、堀の水質浄化を進めることにより、歴史的な景観の向上と快適な公園環境として、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本城の内堀、外堀、総堀に堆積した汚泥等を除去(浚渫)するための工事着手に向け、松本城のお堀に適した浚渫工法の選定を行った。全面的な堀浚渫を行うため、実施設計を行った。あわせて、浚渫後の水量確保や維持管理について状況を把握するための堀総合調査を行った。また、堀の日常的な清掃や水質浄化のための薬剤散布を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市民や観光客への影響を考慮しながら、堀の遺構を痛めることのないよう、松本城の堀に適した浚渫工法を用いて計画的に浚渫工事を実施する。

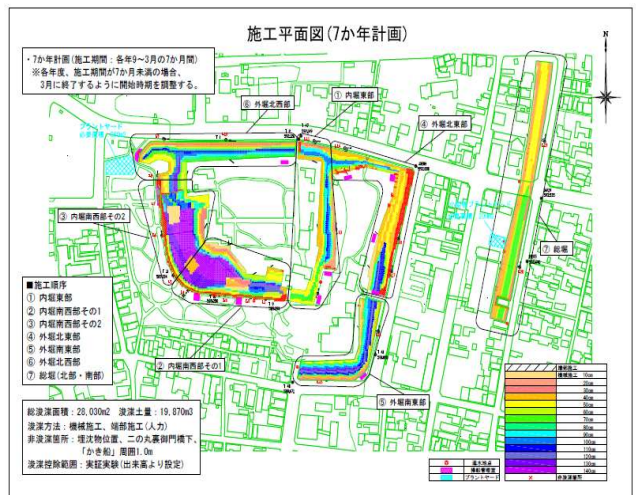
状況を示す写真や資料等

- 1 堆積土 全体で約28,000m³
- 2 水深 0.00mから1.01m程度 (平均0.24m)
- 3 浮泥厚 0.00mから0.82m程度 (平均0.46m)
- 4 総堆積土厚 0.00mから2.44m程度 (平均0.93m)
- 5 土質 全体的に珪素及びその他化合物を多く含有
- 6 堀への流入水量 流入量は2,540L/分 排出量は2,820L/分
- 7 堀の堆積速度(浚渫厚シミュレーション)
 浚渫を1m実施した場合：約20年後に現在の堆積量に戻る
 浚渫を1.5m実施した場合、約60年後に現在の堆積量に戻る

※平成30年度から令和2年度までに実施した堀総合調査による



令和2年度に実施した浚渫工法実証実験の様子



浚渫計画(施工平面図)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
国宝旧開智学校校舎耐震改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 令和2年度～：国宝重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である校舎に耐震対策工事を実施することにより、建造物の保存・活用を図り商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年6月から耐震対策工事を実施している(令和6年度までの予定)
 令和4年9月25日・10月2日に、第2回耐震対策工事見学会を実施、11月26日に、耐震工事関連講座を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子①



旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子②



旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子③



旧開智学校校舎 耐震対策工事見学会の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史まちづくり事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	近代のまちの歴史を伝え、まちの魅力向上につながる建造物の保全活用の取組みにより、歴史的なまちなみ形成過程を知り、地域の歴史・文化への関心を高めて商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度までに126件を松本市近代遺産として登録し、市ホームページで周知を行った(令和4年度新規登録件数0件)。 近代遺産登録建物等を現地確認するとともに、所有者へのヒアリングや啓発チラシ配布を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

29-22 凸間堂	29-23-1 矢口屋物店 店舗①
	
【建築年代】明治21年以降 【用途】店舗・住宅 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27	【建築年代】明治21年以降 【用途】店舗・住宅 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27
29-23-2 矢口屋物店 土蔵	29-24 矢口屋物店 店舗②
	
【建築年代】明治38年 【用途】土蔵 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27	【建築年代】明治21年以降 【用途】店舗・住宅 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27
29-25 古美術種口	29-26 ずムササ
	
【建築年代】明治21年以降 【用途】店舗 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27	【建築年代】明治40年 【用途】店舗 【所在地】中央3丁目 【登録年月日】H29.6.27

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
松本城世界遺産登録推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松本城が世界遺産登録を目指す中で、建築学・歴史学・考古学などの調査研究や同種資産との比較研究を行い、その最新の研究成果を広く市民に対し情報発信を行います。 それらの活動を通して、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的保存、次世代への継承、文化財保護といった意識が醸成され、水めぐる城下町の歴史的風致の維持及び向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年5月に「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会役員会・総会を開催し、事業報告等を行いました。 令和4年8月に第3回3市市民交流会(犬山市・松江市・松本市)を松本市で開催し、市民同士の交流を促進しました。 令和4年12月までに近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会のワーキンググループを2回開催しました。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	松本城の国内暫定一覧表記載に向け、引続き、顕著な普遍的価値の証明に関する調査研究、市民等への普及啓発活動及び県市の推進体制の整備など実施して参ります。		

状況を示す写真や資料等



令和4年度第2回ワーキンググループ(R4.10.21)



「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
令和4年度総会(R4.5.25)



令和4年度 第3回3市市民交流会(R4.8.4～5)

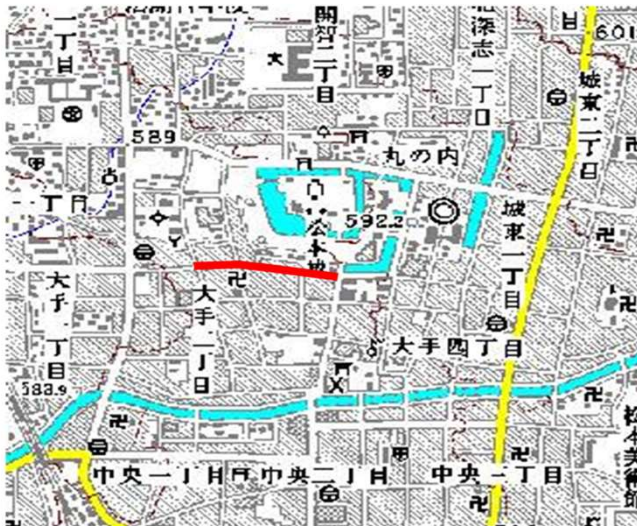


評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

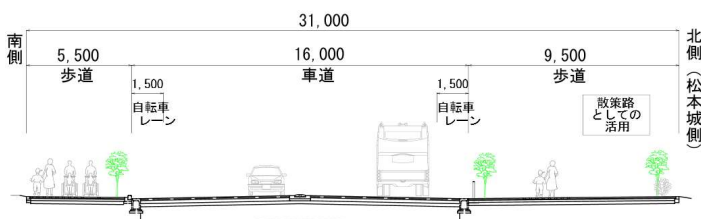
		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
(都)内環状北線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和5年度		
支援事業名	平成23～29年度 社会資本総合整備事業(街路事業) 平成30年度～令和元年度 社会資本総合整備事業(都市再生整備計画事業) 令和2年度～5年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)		
計画に記載している内容	自動車利用から歩行者・自転車及び公共交通を優先した道路への転換や広域避難地である松本城公園への歩行避難空間及び災害対応車両用空間を確保して環状道路の整備を行います。南・西外堀復元と一体のまちづくりによるにぎわい空間となる街路を整備することにより、市民の憩いの場や観光客のたまり場として利用できる街路空間を創出して水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
同意を得た関係権利者に対して、補償算定および用地取得を順次実施し、令和3年度に引き続き、工事を実施した。 令和4年度 用地取得(3件)補償(3件) 用地取得率 100% 工事(道路改良L=280m、電線共同溝L=109m) 電線共同溝施行委託(1式) 令和5年度 歩道工(北側) L=200m			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成24年度に街路事業認可を受け、平成25年度から用地買収に着手し、地元の理解と協力を得て、用地取得を完了した。引き続き、松本城南・西外堀復元事業と一体的に事業を進めるため、関係部署と協議を行いながら事業進捗を図っている。		

状況を示す写真や資料等

都市計画道路 内環状北線
 道路改築 L = 280 m W = 31 m
 歩道(無電柱化、高質化)



事業実施箇所



整備イメージ

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
松本城周辺道路整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

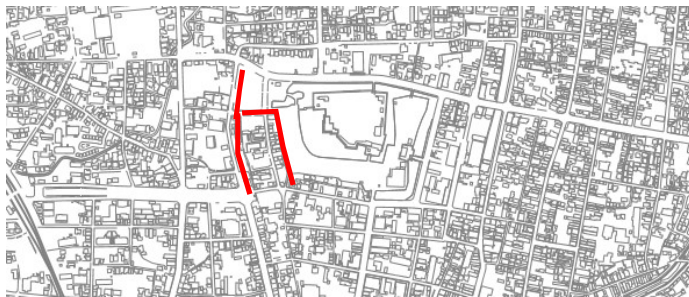
事業期間	平成29年度～令和7年度
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度) 令和5～7年度:市単独事業
計画に記載している内容	松本城の西外堀復元とも関連するお城周辺の道路環境を改善して交通の円滑化を図り、歩行者・自転車が安全で安心して通行できる空間を整備します。松本城周辺景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

同意を得た関係権利者に対して、用地取得を順次実施し、令和3年度に引き続き工事(市道1056号線)を実施した。
 令和4年度 市道1056号線 令和4年度 道路工事(L=140m) 4年度末用地取得 (8件/11件)
 市道1057号線 令和4年度 用地取得(2件)補償(2件) 4年度末用地取得 (4件/6件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度から用地買収に着手し、引き続き地元の理解と協力を得て意見を伺いながら慎重に進めている。令和4年度、L=140m完成。市道1056号線完成延長(140m/240m)

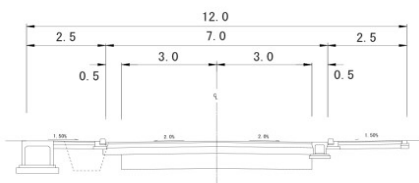
状況を示す写真や資料等



市道1056号線
道路改良 L = 240 m
W = 12.0 ~ 15.0 m

市道1057号線
道路改良 L = 250 m
W = 5.0 m

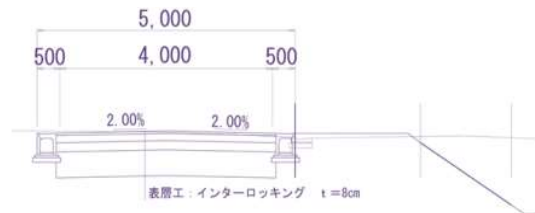
標準横断面図



事業実施箇所



標準横断面図



事業実施箇所



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
松本市基幹博物館整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和4年度

支援事業名 平成23～29年度 社会資本総合整備事業(街路事業)
 平成30年度～令和元年度 社会資本総合整備事業(都市再生整備計画事業)
 令和2年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)

計画に記載している内容 松本城二の丸内にある博物館が三の丸地区に移転することにより、これまで損なわれてきた二の丸の歴史的景観が改善されます。
 また、展示を通じて松本市の歴史や伝統行事などを学ぶ機会を創出して水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新築工事及び展示製作業務が完了した。さらに基幹博物館の管理運営に係る条例改正や指定管理者制度導入等の制度設計を行い、指定管理者を決定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

現在は、建物や展示ケースの枯らし(乾燥)作業を行う等、当初のスケジュール通り令和5年秋の開館に向けた準備を進めている。

状況を示す写真や資料等



新築工事完了 (東南側大名町通りから)



展示製作完了 (常設展示室内部)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市役所庁舎建替事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 現市役所庁舎の一部は、高度地区に定める高さ制限の既存不適格建築物となっています。市役所庁舎の建替えにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度 新庁舎建設の基本的な考え方などについて、庁内検討及び協議
 令和4年 1月12日 基本的な考え方、具体的な案などについて、市議会議員協議会で協議
 12月14日 市議会議員協議会で再協議(継続協議と集約)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 市役所庁舎建替事業については、議会協議で継続協議と判断されています。今後も、議会への協議と市民の皆さまへの説明を行い、建設計画の進捗を図ります。設計・建築にあたり、高度地区に定める高さ制限を遵守します。

状況を示す写真や資料等



現市役所庁舎

高さ制限を超過している

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
松本城を中心としたまちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和12年度

支援事業名 令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度)
令和5年度～ 市単独事業

計画に記載している内容 松本城の南側に位置する当該地域を総合的に整備して、景観に配慮した良質な歩行者空間を提供し、まちの賑わいを創出します。
松本城周辺の景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道1507号線(土手小路)について、博物館と一体となったゆとりある歩行環境を創出し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を整備。

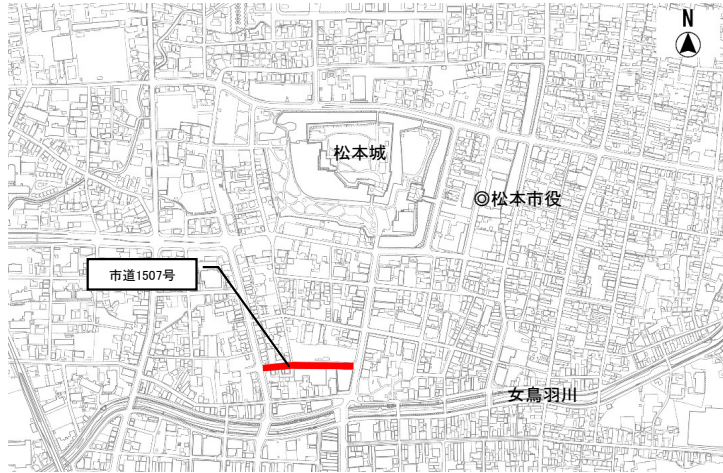
平成30年度 測量及び詳細設計、土質調査を実施
令和3～4年度 道路整備工事(高質化工事)を実施(L=182.9m, W=12.0m)
※令和3年度(準備工)、令和4年度(本工事) 工事進捗状況:令和3年度(0%)、令和4年度(100%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

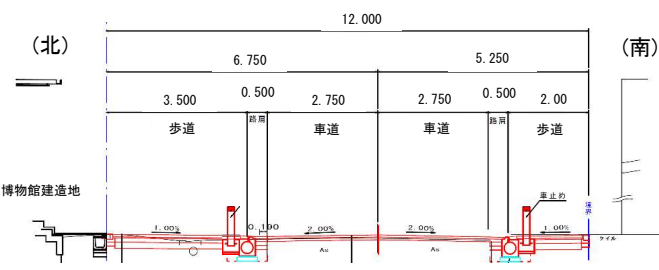
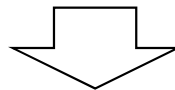
平成26年度に松本城三の丸地区整備基本方針が策定され、平成30年度から測量設計、土質調査等、地元町会・協議会等と整備計画について進めてきた。また、基幹博物館整備事業等と調整を行いながら、事業進捗を図っており、令和4年度完了としている。

状況を示す写真や資料等

市道1507号線(土手小路)
L=182.9m W=12.0m(高質化)



市道1507号線 整備前



標準断面図



市道1507号線 整備後
(令和3～4年度 工事)

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歩いてみたい城下町まちづくり事業(まちなみ修景事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和4年度

支援事業名 令和3年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)

計画に記載している内容
 城下町の町割が残るお城周辺は、特徴のある路地や小路が存在し、城下町の風情やたたずまいを醸し出し、城下町であったことを今に伝え、歴史的風致を形成する重要な要素です。建物の修景補助を行うことにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

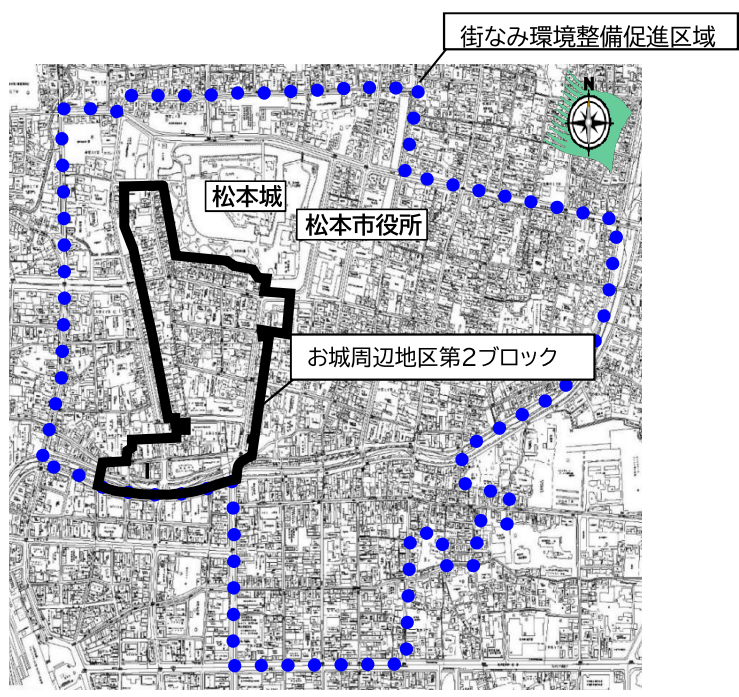
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内のお城周辺地区第2ブロックにおいて、まちづくり協定や街並みガイドラインに基づき、建物のファサード修景に対する補助を行い、良好なまちなみ景観を形成するもの。(令和4年度:修景補助件数0件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 お城周辺地区の回遊性の向上のために、まちづくり協定運営委員会と修景手法やまちづくり協定等との整合について、検討しながら整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等



修景前



修景事例



修景後

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
景観計画推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	令和2年度 景観改善推進事業(景観計画改定)、令和3年度～ 市単独事業 令和4年度 景観改善推進事業(景観デザインガイドライン改定)

計画に記載している内容 景観計画の改定を行い、より良好な景観形成への誘導を図ることにより、歴史的まちなみ景観が向上して市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成20年度に策定した松本市景観計画を改定して、景観事前協議制度における協議の円滑化を図ります。また、各地域の特性や守るべき景観の特徴など、景観形成上配慮すべき点を明確にして、良好な景観への誘導を図るもの。(令和4年度重点区域内の協議完了件数:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観誘導手法として機能するよう、景観デザインガイドラインも併せて見直しを進めていく。

状況を示す写真や資料等

松本市景観ガイドライン改定方針

1. 松本市景観計画デザインマニュアル (DM) 改定方針について

2. DMの位置づけ

3. 基本設計内容

4. 情報発信の方法

景観計画マニュアル

景観計画マニュアルの改定方針

景観計画マニュアルの改定方針

松本市景観ガイドライン概要

1. 松本市景観ガイドライン概要

第1章 はじめに

第2章 景観形成の目標

第3章 景観形成の基本

第4章 景観形成

第5章 景観形成の推進

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
空き家対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和12年度

支援事業名 令和2年度～11年度 空き家対策総合支援事業
令和12年度～ 市単独事業

計画に記載している内容 空き家対策の促進により、歴史的建造物の滅失を防いで歴史的まちなみ景観を保全することにより、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家バンクに物件を掲載する事により利活用の促進している。(R5.1月現在 掲載物件16件(内、近代遺産1件))
 空き家バンクのホームページ閲覧数 (R4.3月末現在 閲覧数23,677)
 老朽化した空き家が危険な状態である場合に解体費の補助を行っている。(R5.1月現在 補助申請件数13件)
 松本市内の空家等対策計画における想定空家の数 (H31.3月現在 空家数2,839戸)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	空き家は今後も増加傾向にある。 空き家問題の意識醸成を図り、所有者自身による適切な管理を促進する。空き家バンクへの掲載物件が増えるよう、公式SNS等を活用し、物件所有者に対して周知を図る。そのうえで、除却・利活用に際しては、歴史的建造物であるかどうか、という視点も必要と考える。
--	--

状況を示す写真や資料等



松本市空き家バンクサイトのイメージ



市内の老朽化した危険な空き家のイメージ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財記録保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	今後失われたり、変容するおそれのある文化財を記録の上で保存し、その成果を公開することにより、次世代への伝承と市民への情報発信ができ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
コロナ禍で縮小傾向にある民俗調査と映像記録を実施した。 未指定文化財の調査を実施し記録した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	個別文化財については案件ごと、祭礼は再開され次第、引き続き調査を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
両島のお八日念仏と足半(松本のコトヨウカ行事)			
			
稻核風穴群の分布記録調査			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市民学芸員養成講座		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「松本まるごと博物館構想」の実現に向け、博物館を拠点に地域を学び情報発信し、活動の中心となる人材として市民学芸員を養成することで、松本市の歴史・文化を継承し、市域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第11期市民学芸員養成講座を6～2月まで全9回で開講し、養成を行っています(13人受講)。受講修了生がグループで、七夕、あめ市の講座を行うなど、個別の活動が活性化しています。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	講座の開催にあたり、公民館との連携を拡大していきます。積極的に補助金等財源を確保し活動の拡大に努めます。		
状況を示す写真や資料等			
			
養成講座 フィールドワーク			
			
養成講座資料			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
松本城学びと研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松本城や城下町を「体験」「学習」の場として捉え、『松本城でなければ学べない、松本城だから学べる』をコンセプトとした学習会等を開催して、子供や市民の学習意欲に応えます。 また、これらの活動を通じて松本城や城下町の歴史、伝統行事、文化財保護の考え方を学ぶことにより、意識の高揚が図られ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
天守建造物や史跡などの重要性を学ぶ機会提供として、松本城二の丸、三の丸の歴史遺構を見学する夏休み子ども勉強会(令和4年7月30日)、松本市が保管する火縄銃について学習する松本城講座(令和4年12月3日)、学校・企業等を対象とした出前講座を年間をとおして実施した。 また、城下町の歴史を紹介する動画配信や、松本城に収蔵されている歴史資料の成果を紹介する「おもシロ!城郭つうしん」の刊行など、新たな取組みにも着手した。 なお、市内の小学6年生を対象に学習教材(副読本「私たちの松本城」)の配布も例年に引き続行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	松本城を後世に残し伝えるために、松本城や城下町を「体験」「学習」の場として、歴史や伝統行事、文化財保護の考え方を学べるような機会を創出する。		

状況を示す写真や資料等



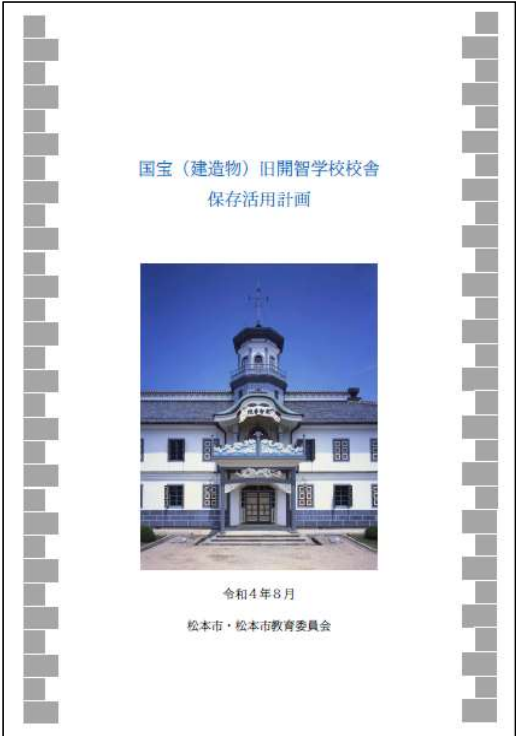
松本城講座の様子



夏休み子ども勉強会の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	松本市は、市域全体の文化財を指定・未指定を問わず総合的に把握し、保存活用を図る文化財保護のマスタープランとして平成29年(2017)度に「松本市歴史文化基本構想」を策定しました。さらにこの基本構想を基に、平成30年(2018)度に「松本市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和元年(2019)度に国の認定を受けました。松本市歴史文化基本構想及び松本市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・活用を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松本市文化財保存活用地域計画に基づく文化財活用事業であるまつもと文化遺産の保存活用団体に、補助金を3件交付した。 国宝(建造物)旧開智学校校舎保存活用計画を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
国宝(建造物)旧開智学校校舎保存活用計画			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の修理について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
文化財の区分に応じ、文化財保護法や関係条例の規定を遵守し、また、必要に応じて文化庁、長野県、松本市文化財審議委員、学識経験者等の指導・助言を仰ぎながら、適切に文化財の保存・管理を実施します。個人所有の指定等文化財に対する修理については、計画的に補助金の交付を行い、所有者の負担軽減を図るとともに、適切な修理内容となるよう支援します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本市重要有形民俗文化財「松本城下町の舞台(博労町)」の舞台庫環境整備事業1件に対して補助金を交付した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



松本市指定 松本城下町の舞台 博労町

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財の保存・活用を行う施設について			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 松本市は、平成12年(2000)に「松本まるごと博物館構想」を策定し、松本市立博物館を中核施設として松本市全体を屋根のない博物館と考えて事業を展開しています。本館のほかに文化財建造物の活用を含め15の分館を設置し、博物館活動を通して文化財の保存活用を進めています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

友の会総会を旧制高等学校記念館で開催した。
 第3回博物館まつりを歴史の里で開催した。
 七夕人形づくり講座をはかり資料館で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	松本市立博物館は三の丸へ移転新築するため休館しており、学習の場が限定されるなか、分館を活用して事業を継続している。 分館ごとに施設の性格が異なるため、文化財建造物の保存活用と博物館活動の効果的な実施に支障が生じている。

状況を示す写真や資料等



博物館まつり 六地藏調査発表(歴史の里)



博物館まつり 松本の七夕を知ろう(歴史の里)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の防災について			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財のハード・ソフト両面での防災のための整備等を進めるとともに、日常的な管理における防災を徹底します。また、個人等が所有する文化財については、防災・防犯に関する情報を周知し、日常的な維持管理を始めとした対策について協力を仰ぎます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守、国宝旧開智学校校舎等で、1月26日の文化財防火デー等に消防訓練を行った。市が管理する文化財建造物は、防災・防犯のため、夜間巡回警備、来場者への啓発・注意喚起の掲示等を実施。民間所有の指定・登録文化財は、長野県教委、市教委が実施している文化財パトロールの際、防災、防犯の状況を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ソフト・ハード両面の防火、防災体制の強化が必要となっており、引き続き耐震対策、防火対策を推進する。

状況を示す写真や資料等

文化財防火デー消防訓練



重要文化財 馬場家住宅



重要文化財 旧松本区裁判所庁舎

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
松本の国宝旧開智学校校舎 市教委が保存活用品	R4.5.24	中日新聞
マップを片手に文化財巡りを 松本市教委が作成、配布	R4.6.4	中日新聞
「まつもと文化遺産」ロゴマークが決定 市民の投票で	R4.11.2	信濃毎日新聞
市の「近代遺産」に登録「旧宮島肉店」 松本の歴史 物語る菓子店に	R4.11.22	信濃毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財等とその活用(観光、地域づくり等)に関する関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

松本の国宝旧開智学校校舎 市教委が保存活用品

松本市教委は、二百、市議会経文教育委員会で、旧開智学校校舎の保存活用計画案を示し、二〇一九年の部市の置換の火災などを避け、部屋ごと火災を防止するシステム導入や、仮想現実(VR)を利用した観光コンテンツの検討などを盛り込んだ。計画では施設の保護管理や防災、観光や資料館など、

松本市教委は、二百、市議会経文教育委員会で、旧開智学校校舎の保存活用計画案を示し、二〇一九年の部市の置換の火災などを避け、部屋ごと火災を防止するシステム導入や、仮想現実(VR)を利用した観光コンテンツの検討などを盛り込んだ。計画では施設の保護管理や防災、観光や資料館など、

保存管理には一八七六(明治)年の完成時の姿を損なわないよう維持することだ。観光面では一九六四(昭和三十九)年の移築工事を取り壊した教室棟のVR作成の検討や、敷地内の園遊路をたんにするパリアフリー化を進める。校舎は昨年度から耐震工事が進められており、二〇二四年年度毎年度、計画は六月まで(パリアフリー)を完了し、本年度中に完成する。(大塚 崇)

中日新聞 (令和4年5月24日)

まつもと文化遺産

「まつもと文化遺産」ロゴマークが決定
市民の投票で
松本市教委は、地域で保存活用されている文化財群「まつもと文化遺産」のロゴマークを市民の投票で決めた。石碑をモチーフにしたデザインで、パンフレットや説明看板などに使う。

市教委が示した3案の中から「インスタグラム」から「エイヌスタク」で付いた「いいね」の数が最も多かったデザインを採用。決定したロゴは「まつも」の「い」を集めた。まつもと文化遺産は、地域に親しまれてきた文化財を守るための2018年度に制度を創設。現在は七つの文化財群が認定されている。市教委文化財課は今後も認定を進める方針。担当者は「地元にも存在がよくなっていない文化財も多い。ロゴをきっかけに関心が広がってほしい」と話している。

信濃毎日新聞 (令和4年11月2日)

マップを片手に文化財巡りを 松本市教委が作成、配布

松本市内にある約200の文化財や史跡をまとめた「松本文化財巡りマップ」が、市教委から配布された。二〇二四年六月四日、市教委は、松本文化財巡りマップの配布式を行った。配布式には、市教委の職員や関係者、市民などが参加した。配布されたマップは、市内の文化財や史跡の位置や特徴、歴史などを詳しく紹介している。マップは、観光客や市民が文化財を巡る際の参考になる。市教委は、今後も文化財の活用や観光の促進に取り組んでいく。

中日新聞 (令和4年6月4日)

松本の歴史 物語る菓子店に 市内の菓子職人・朝吹さん 改修し開店準備

松本市の歴史を物語る菓子店「旧宮島肉店」の改修工事が進んでいる。市内の菓子職人・朝吹さんが、改修した店舗に開店準備を進めている。朝吹さんは、市内の菓子職人として活躍している。改修した店舗は、歴史を物語る建物であり、朝吹さんは、伝統的な菓子作りを継承し、新しい菓子を開発している。朝吹さんは、改修した店舗で、歴史を物語る菓子を提供し、市内の観光客や市民に楽しんでもらいたいと考えている。

信濃毎日新聞 (令和4年11月22日)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

歴史まちづくりの効果について

計画に記載している内容 本計画における歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等は、歴史的風致を構成する建造物の保存・活用、歴史的風致の維持向上に資する環境の維持・形成、歴史的風致への理解を促すための事業等により実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

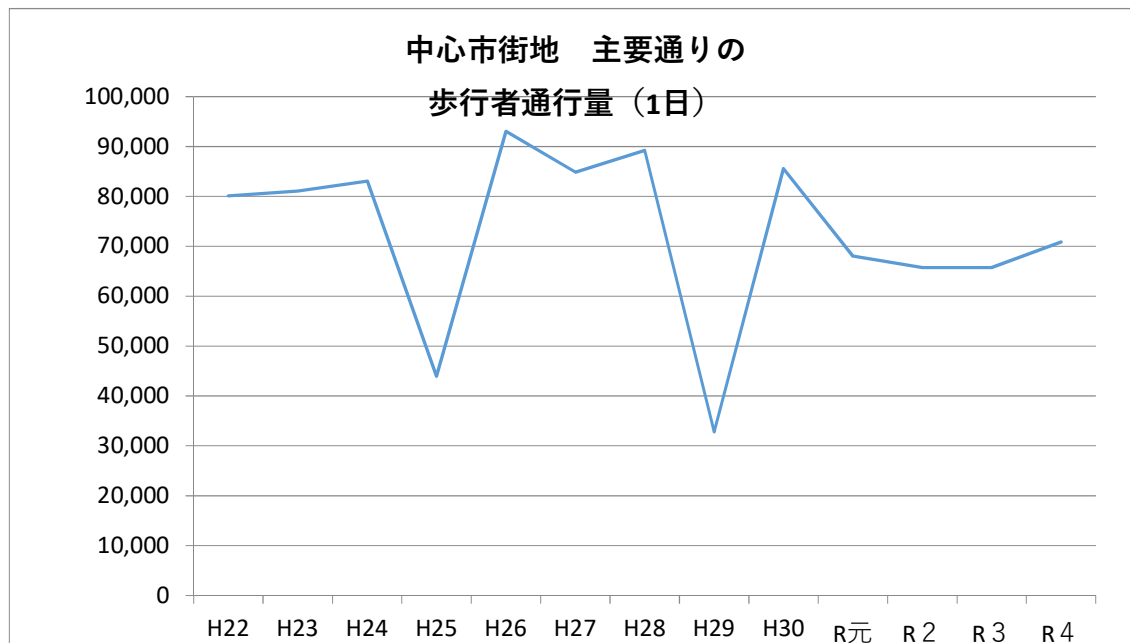
歴史的風致維持向上施設の整備の進捗により、中心市街地の主要な通りの歩行者通行量は微増傾向にある。但し、当該指標は調査日の天候に左右され、H25、29は雨天、R元は曇天で気温が上がらなかったため、R2、R3は新型コロナウイルス流行による影響を受け通行量が減少している。R4は増加し、城下町の風情やたたずまいを醸し出すまちなみ景観を形成している中町や縄手通りの通行量は他の地区に比べて多くなっている。特に歴史的なまちづくりなどに取り組んできた中町は、新型コロナウイルス流行以前のR元を上回って歩行者が増加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
中心市街地 主要通りの 歩行者通行量 (1日)	80,114	81,076	83,098	43,948	93,043	84,862	89,235	32,810	85,571	68,016	65,711	65,743	70,869
前年対比	-	1.2%増	2.4%増	47%減	111%増	8%減	5.1%増	63%減	261%増	21%減	4%減	0.05%増	7.7%増

※上土町、大名町、緑町、大手通り、西堀町、六九町、縄手通り、伊勢町、中町、公園通り、駅前通りにおいて計測した34地点の歩行者通行量を集計。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 松本市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 令和5年2月15日 10時00分から11時30分まで	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 歴史まちづくりの取組みについて、より広く関係課が連携をとって支援する体制をつくることを強く求める。また、広く市民に知ってもらう方法として、パンフレットなどで示すとPR効果が出ると考える。</p> <p>(2) 歴史まちづくりの効果について、中心市街地の歩行者通行量を指標にするだけでなく、まちづくりによってどのような変化があったのか、町ごとに評価したほうが良い。</p> <p>(3) 松本城南・西外堀復元事業について、平面整備から水堀復元の方針に変更した経緯が、市民に分かるよう記したほうが良い。</p> <p>(4) 市役所庁舎建替事業について、市民とも話し合いをすることを希望する。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 歴史まちづくりの取組みについては、他部署との連携を密にして、庁内で広く連携する場を設けるなど対応したい。また、広く市民に知ってもらう方法として、他部署と連携して、近代遺産や歴まち重点区域等の歴史まちづくりに関する情報を紹介するなど、取組みを検討したい。</p> <p>(2) 歴史まちづくりの効果に関する指標は、計画の見直しの際に適切な指標について再検討したい。</p> <p>(3) 松本城南・西外堀復元事業の経緯については、進行管理・評価シートではなく、引き続きホームページ等での情報発信に努めたい。</p> <p>(4) 市役所庁舎建替事業については、市議会との議論が本格的になった段階で市民にも意見をききたい。</p>	